



第262号 2019年9月発行

# 広島市中区医師会会報

〒730-0051 広島市中区大手町4丁目1番1号大手町平和ビル2階 TEL (082) 504-6681 FAX (082) 504-6685  
ホームページ <http://nakaku.city.hiroshima.med.or.jp> 編集責任者 広島市中区医師会会长 正岡 亨

## ■ 2019年度 医療安全・院内感染対策研修会報告

日 時： 2019年8月23日（金） 19:00～

場 所： 大手町平和ビル 5F 大会議室

演 題I：「届出基準変更後の風疹・百日咳の現状」

国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター 梶原 俊毅 先生

演 題II：「チームワークと医療安全」

広島大学保健管理センター 准教授 日山 亨 先生

出席者： 58名

上記演題に沿ってご講演いただきました。終了後には多くの質疑応答が寄せられ、充実した研修会になったことかと存じます。梶原先生、日山先生、ご出席いただきました皆様、ありがとうございました。

また研修会記録を中区医師会ホームページに掲載しております。



梶原先生



日山先生

## ■ 江波圏域多職種連携会議報告

日 時： 2019年8月24日（土） 16:00～

場 所： 大手町平和ビル5F 大会議室

演 題：「高齢者の食べるを支える～在宅での栄養管理の基礎知識～」

講 師： 株式会社クリニコ 管理栄養士 茅野 梓 氏

参加者： 70名

管理栄養士の茅野様をお招きし、高齢者の「食」に関するご講演をいただきました。講演中には栄養補助食品の試食を行うなど、より知識を深める機会となりました。講演後には事例を用いてグループワークを行い、どの卓でも盛んな意見交換をされました。終了後には懇親会が開かれ、医療・介護の多職種・専門職がテーブルを囲み、それぞれの名刺交換や情報交換を行いました。



<裏面もご覧ください>

## ■ 園医・学校医・養護教諭との意見交換会報告

日 時：2019年8月30日（金） 19:00～

場 所：広島アンデルセン 5F デンマークルーム

演 題：「小児の食物アレルギーについて」

講 師：すがいこどもクリニック 院長 菅井 和子 先生

出席者：35名

3人に1人はアレルギーを持っており、その中で最も多いのは「食物アレルギー」です。今回は「即時型食物アレルギー」について、アレルギーの症状やアナフィラキシーの治療と対応、エピペン®などについてお話をされました。教育現場における食物アレルギーへの対応としては、「アレルギー疾患児の把握」「保護者・医師・教職員間での共通理解」「生活管理指導表の定期的な見直し」が重要であり、何よりも症状発現時の速やかな対応が大切であるとご講演いただきました。



## ■ 第20回 市民公開講座報告



日 時：2019年8月31日（土） 14:30～16:00

場 所：広島県民文化センター

演 題：「ご機嫌な老活」

講 師：生島 ヒロシ 氏

出席者：540名

ラジオ番組を振り出しにアナウンサーとして活躍され、1999年には痴呆症を患った義母の介護経験を描いた『おばあちゃん、壊れちゃったの』を出版され、テレビドラマとなるほど話題になりました。今回はその経験から「老活」について、ご講演をいただきました。本年度も大変多数のご応募をいただき、抽選の結果ご聴講いただきました。幅広い年齢層の方にご参加いただき、無事終えたことを、ご報告いたします。

## ■ 第17回 災害時医療研修会報告

日 時：2019年9月4日（水） 19:00～

場 所：メリオレク広島 5F 「桜」

演 題：「平成30年7月豪雨災害の経験－多種職連携の重要性－」

講 師：安芸地区医師会 理事

　　救急医療委員会 平林 晃 先生

出席者：60名

平成30年7月豪雨災害の当日の状況から動き、実際の活動内容について安芸地区医師会の平林先生よりご講演いただきました。ご経験による気づきや、西日本豪雨災害におけるマツダ病院の対応と今後の課題について話され、関係各機関の連携の在り方として、教訓として「多職種の連携が今後の改善である」とその重要性についてご講演をいただきました。

